

The 13th Asian Textiles Conference に参加して

與倉弘子

滋賀大学教育学部

1. The 13th Asian Textiles Conference (ATC-13)

The Asian Textiles Conference は The Federation of Asian Professional Textile Associations (FAPTA) によって、二年毎に開催される繊維工学・テキスタイル科学分野の主要な国際会議です。FAPTA 加盟国は韓国、インド、中国、台湾、日本、イランと豪国であり、日本では繊維学会が窓口となっています。2009 年に信州大学繊維学部(上田)で開催された ATC-10 に参加された方も多いと思います。第 13 回 ATC は 11 月 3 日～6 日、豪国のビクトリア州にある Deakin University Geelong Waterfront Campus で開催されました。

プログラムとしては、Plenary session に三件の Keynote の後、各セッションで 6 名の Keynote 講演があり、東京工業大学の鞠谷先生（繊維学会会長）がご講演されました。口頭発表は以下の 8 つのセッションで開催され、同時並行でポスターセッション 1～3 がありました。天然繊維から機能性繊維・新素材まで多岐にわたる報告がありました。

- Fashion and clothing science
- High performance fibers and composites
- Nanofibers and functional materials
- Natural fibers
- Technical textiles and nonwovens
- Textile performance and evaluation
- Textile processing and treatments
- Future Fibers Symposium

第 14 回 ATC は 2017 年 6 月に香港理工大学で開催される予定です。参加をご検討ください。



2. Welcome Reception Tours of leading Australian textile and fiber research facilities(見学会)

本会議に先立ち、11 月 2 日に Deakin 大学の Institute for Frontier Materials, Carbon Nexus, CSIRO の Manufacturing Flagship research laboratories を見学しました。見学先のある Geelong Waurn Ponds Campus は、敷地が 300 ヘクタール以上あり、緑豊かな広大な敷地を活かして、CSIRO 研究所や繊維の製造から製織仕上げまで網羅した工場設備が設置されていました。Carbon Nexus を始め、豪国の化学産業を支える拠点を視察することが出来ました。また、同日に有名な Melbourne Cup (horse race) が開催され、遊びで配られた馬券を手に、大型スクリーンで観戦してレースを楽しみました。



3. Deakin University について

ディーキン大学は、メルボルン、ジーロング、ワーナンブールに合計 4 つのキャンパスがあります。会場となった Geelong Waterfront Campus は、ジーロングのビジネス街の中心、コリオ・ベイにあり、1893 年に建てられた羊毛倉庫等の建物が大規模にリフォームされ、赤レンガの外壁や講義室に残る倉庫の柱などが印象的でした。ジーロングは歴史ある港町で、メルボルンからは車、電車で約 1 時間です。基本的に観光地ではなく、商業施設も 5 時頃には閉まります。大学に隣接する国立羊毛博物館には、オーストラリアの牧羊業の歴史を偲ぶ繊維機械や人々の暮らしに関する展示と羊毛製品のショップがあり必見です。

<連絡先>

〒520-0862 滋賀県大津市平津 2-5-1

滋賀大学教育学部家政教育講座 與倉弘子
077-537-7827, yokura@edu.shiga-u.ac.jp